

Yukikaze Technology

詳細資料

2022/08/18最終更新



Yukikaze Technology代表
鈴木 瀨那



00 ご挨拶

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度はお忙しい中、私達Yukikaze Technologyの資料をご覧いただき、
誠にありがとうございます。
資料をご覧いただき、ご支援を検討してくださると幸いです。

Yukikaze Technology 一同



- 1** チーム概要 : 04
- 2** 組織図・活動状況 : 11
- 3** パートナー提携に関して : 18



A large audience is seated in a theater, with many people raising their hands in the air. The theater has a wooden interior and a large screen at the front. The text "チーム概要" is overlaid in the center of the image.

チーム概要



01 チーム情報



#8853 Yukikaze Technology

代表: 鈴木瀬那 設立: 2020年5月25日 メンバー数: 15名

Yukikaze Technologyとは

米国のNPO法人FIRST®が主催する中高生を対象としたプログラム「FRC」の出場を目指す目的で発足したチームです。現在は、札幌市近郊に在住する中学生・高校生のメンバー14名で活動しています。FIRST®の小中学生対象のプログラム「FLL」に出場していたチームNorth Japanが前身となっています。

チーム結成の経緯

メンバーの半数は2019年にトルコで開催されたFLL世界大会へ出場し、部門別優勝・特別賞を受賞するなど精力的に活動しました。世界大会へ出場して1年が経とうとしていた頃、「より高みを目指したい」という意志が芽生え、より高度なロボット技術が必要であるFRCへの参加を決意しました。



01 活動理念

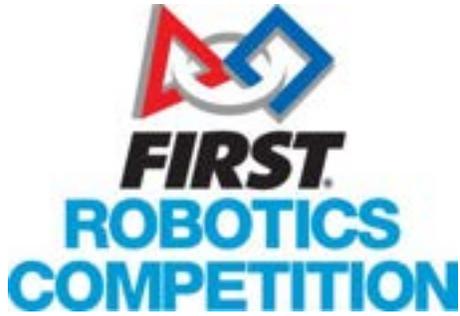
STEAM教育が浸透していない地域においても、
FLL・FRCといったプログラムを認知してもらう。

ロボットだけでなく、プレゼンテーションや資料作成などの
分野についても学べる機会を提供する。

FRCチームを作りたいと思う方をサポートする。
日本国内でのFRC地区大会開催を目指す。



01 FRCについて



FIRST® Robotics Competition

参加国:約25カ国 参加者:約9.5万人 チーム数:約3,500チーム
15-18歳を対象とした国際ロボット競技会



ロボット競技

資金調達

社会貢献



01 FLLについて



FIRST® LEGO® LEAGUE CHALLENGE

参加国: 110ヶ国 参加者: 約28万人 チーム数: 約3.5万チーム
9-16歳を対象とした国際ロボット競技会
Yukikaze Technologyの前身である、North Japanが参加。



01 FLLでの実績

- ・地方予選2年連続 2位(2018,2019)
 - ・2019年地方予選にてプロジェクトアワード受賞
-
- ・4年連続全国大会出場
 - ・全国大会2位
-
- ・トルコで行われた”FLL Open International Turkey 2019”にて部門別優勝と特別賞をW受賞

NW



01 FRCでの実績 2022 Season

- ”FRC Hawaii Regional 2022” 出場
 - ”Rookie All Star Award” (新人賞) 受賞
 - 最終トーナメントにて決勝戦まで進出
“Regional Finalist”になる
-
- 初年度にして、米国ヒューストンで開催された
世界大会”FIRST® Championship 2022”に出場
(日本歴代2チーム目)



組織図・活動状況



02 チーム組織図-メンバー

役職	名前	所属部署	所属校	学年
代表	鈴木 瀬那	運営部	立命館慶祥高等学校	2年
運営部長	伊藤 原野	運営部	立命館慶祥高等学校	2年
	古野 貴一	運営部 ロボット部ハードウェア課	北嶺高等学校	2年
	阿部 瑛人	運営部	札幌大谷中学校	1年
アウトリーチ部長	浅野 颯太	アウトリーチ部	札幌国際情報高等学校	2年
副代表	藤井 亮太	ロボット部ハードウェア課 運営部	S高等学校	2年
副代表	小倉 寛史	ロボット部ソフトウェア課 広報部	札幌西高等学校	2年
ロボット部長	太田 蔵之介	ロボット部ハードウェア課 広報部	札幌北高等学校	2年
	小泉 健太	ロボット部ソフトウェア課	苫小牧工業高等専門学校	2年
	小西 恭平	ロボット部ハードウェア課	立命館慶祥高等学校	2年
	中島 令雅	ロボット部ソフトウェア課	市立札幌旭丘高等学校	1年
	坂田 悠真	ロボット部ハードウェア課	市立札幌旭丘高等学校	1年
	太田 朔大朗	ロボット部ソフトウェア課	札幌八条中学校	2年
	藤原 言葉	ロボット部ハードウェア課	札幌日本大学中学校	2年
	阿部 遥人	ロボット部ソフトウェア課	札幌大谷中学校	1年



02 チーム組織図-メンター

お名前 (敬称略)	ご所属
田中孝之	北海道大学大学院情報科学研究院教授
榊村匡史	北海道大学ロボットアーキテクトサークル
榎本勝美	榎本電子設計事務所
鈴木源基	株式会社ASCe
佐々木将人	株式会社ASCe
太田宜志	株式会社ナップザック
小木曾哲	NPO法人ジョルナ

Yukikaze Technologyでは、メンター様から様々な面でご協力を頂いております。
具体的には、ロボット製作での安全管理・技術的支援、
チーム運営での口座管理・活動の助言など多岐にわたります。



02 今までの活動

2020年	5月～	チーム結成・活動理念決定・チームロゴ決定
2021年	1月～3月	活動場所などの検討・日本のFRCチームへの訪問
	4月～5月	(メンバーの高校受験終了によって)本格的な活動開始
	6月～8月	アプリ作成・広報活動の開始
	8月～	企業様とパートナー提携について話し合い
	11月	クラウドファンディング終了・シーズン登録
2022年	1月	キックオフ・ロボット製作開始・JPWにてセッション
	2月	東京のFLLチームへのアドバイス実施・FLL全国大会にて広報
	3月	ハワイ地方大会出場 新人賞・準優勝
	4月	ヒューストン世界大会出場 日本歴代2チーム目
	5月	2022 Season活動報告会 新メンバー加入



02 これからの活動

2023

「継続の年」としてFRC出場を目指す

長期目標

- 地域に浸透した小中高生団体（認定NPO法人設立へ）
- アウトリーチイベントによる科学教育の機会提供
- 日本でのFRC地区大会の開催



02 これからの活動-今後の課題

<運営>

- ・後輩づくり、新メンバー育成
- ・持続的な活動場所
- ・メンターへの負担
- ・資金調達
- ・ビルディングシーズンの計画性
- ・SNS広報の活発化
- ・学校生活や大学受験への影響
- ・海外チームとの交流

<ロボット>

- ・安全管理
- ・製作コスト削減
- ・高精度な部品作成
- ・新メンバーへのノウハウの伝達



02 これからの活動-今後の指針

<運営>

- ・札幌市内小中学校へチラシの配布→14.2万人への広報が可能
- ・NPO法人化により社会的信用度の増加、支援がしやすい体制づくり
- ・組織との関わり合い
 - 組織と密接に関わることで、様々な活動がしやすくなる
 - 海外チームはほとんど組織の一部であり、日本の8509も機構で活動

<アウトリーチ>

- ・FIRST® Program及びSTEAM教育の地域への浸透
- ・最高権威賞“FIRST® Impact Award”を見据えた活動
- ・メンバー集めにも直結



パートナー提携に関して



03 必要な資金

項目	予算	実績	増減額
大会参加登録費	700,000	1,323,016	-623,016
ロボット部品代	900,000	1,491,132	-591,132
工具代	100,000	50,458	49,542
メンター渡航費	600,000	603,220	-3,220
模擬フィールド製作費	50,000	76,473	-26,473
ロボット輸送費	300,000	233,630	66,370
租税公課	20,000	64,500	-44,500
消耗品代	30,000	349,330	-319,330
雑損		11,895	-11,895
支出合計	2,700,000	4,203,654	-1,503,654

支出の部

ハワイ大会までに限れば、
今年の必要資金は約250万円

<内訳>

大会参加登録費:70万円
 ロボット関連費:100万円
 メンター渡航費:60万円
 その他:20万円

次年度繰越金は
 Championship出場の
 影響で残っておらず、
 1からの資金調達が必要



03 チームからのお礼

各種広報内容/口数	1-5口	6-15口	16-25口	26-50口	51口以上
ロボット・ユニフォームへのロゴ掲載	小	中	大	大	特大
大会ブースで企業ロゴボード掲載	小	中	大	大	特大
大会ブースで企業パンフ(英語版のみ)配布			○	○	○
チーム資料の表紙にロゴ掲載				○	○
チーム資料、パートナー企業紹介欄でのロゴ掲載順位	下位				上位
資料に企業説明文			○	○	○
アウトリーチ活動時、資料配布の順位(ブース設営時)	下位				上位
HPの紹介ページにおける掲載順位	下位				上位
HPの紹介ページに説明文	○	○	○	○	○
動画内にロゴ掲載	終了時	終了時	動画中	動画中	動画中
活動報告会への参加権活動報告書の送付	○	○	○	○	○



一口は**20,000円 (貳万円)**です。
何口でも可能です。

(資金面以外でのご支援の場合には、別途ご相談させていただきます。)



03 チームからのお礼-今後

- 企業様との合同ワークショップ
- 企業様紹介サイトの制作
- SNSやパンフレットなどの広報活動による周知

- NPO法人化:支援しやすい体制づくり
- 「Yukikaze Technologyを支援しています」というブランドづくり

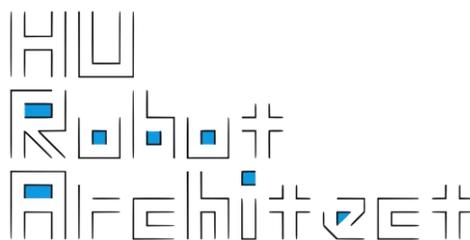


03

2022 Seasonのスポンサー様



株式会社ナップザック



03 最後に

ご挨拶

お忙しい中、私達の資料をご覧ください誠にありがとうございます。私達の活動にご興味を持っていただけたら幸いです。FRC参加のためには皆様からのご支援が不可欠です。ご協力をご検討いただけると幸甚です。

連絡先

yukikaze.technology@gmail.com

各種SNS

公式HP: <https://yukikazetech.jpn.org>

Twitter: https://twitter.com/yukikaze_tech

Instagram: https://www.instagram.com/yukikaze_tech/

Facebook: <https://www.facebook.com/Yukikaze-Technology-105308431658011>

YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCnG8--wPm2s9uC-Gt44Z2SQ>

